



発行責任者: 歯学部長 宮崎 隆, 編集責任者: 広報委員長 井上 富雄
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL: 03-3784-8000
ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp>



父兄会秋季部会が開催されました

教育委員長 井上 美津子

平成21年度の父兄会秋季部会は、10月24日の土曜日の午後に開催されました。秋季部会のご父兄と指導担任との懇談が中心となっています。午後1時から各学部の部会が行われ、歯学部部会では旗の台校舎4号館6階600号室にて約30分ほど全体会議を行いました。宮崎歯学部長、井上教育委員長から最近の昭和大学や歯学部の現状報告を含めた挨拶の後、立川学生部長より学年主任・副主任の紹介、次いで指導担任の紹介がありました。その後懇談会に移り、2年生から4年生までのご父兄は基礎系が指導担任のため旗の台の各教室で、5年生・6年生のご父兄は臨床系が指導担任のため5号館の2階・6階や1号館のPBL教室などで、それぞれの指導担任と面談を行いました。歯学部は4学部の中でも最も父兄の出席率が高く、日常の学生生活や講義への出席状況、試験結果などについて、熱心な話し合いがなされました。また5、6年生のご父兄からは、臨床実習、卒業試験をはじめとして、歯科医師国家試験への準備や卒業後の進路などについても質問や意見交換がなされました。

懇談会が終わるところから小雨が降りだすあいにくの天気でしたが、3時半からは50周年記念館に場所を移して懇親会が開かれました。他学部の父兄とも合流しての懇親会で、おいしい料理と飲み物(アルコール?)に口も軽やかになり、ご父兄と教員間ばかりでなく、ご父兄同士の話にも花が咲き、和やかなひと



ときに時間を忘れているうちに日も暮れ、雨も本格的になり、名残惜しいなかで懇親会はお開きになりました。

出席いただいたご父兄をはじめとして、指導担任の先生方、教務部の皆様、ありがとうございました。

平成21年度永年勤続者表彰式開催される

歯学部長 宮崎 隆

去る11月10日(火)に上條講堂において、学校法人昭和大学の平成21年度永年勤続者表彰式が執り行われました。グリークラブの校歌斉唱に引き続き、細山田学長が挨拶し、自分の学生時代と比較すると昭和大学の発展はめざましいが、社会に貢献するのが責務であるので、引き続き学生教育の環境を整えていかななくてはならず、そのためにはお金よりも皆さんの協力が重要であるので今後とも皆さんとともに大学を発展させたいと述べられました。引き続き学長から35年、25年、15年の代表者に、表彰状と記念品が授与されました。記念撮影のあと、タワーレストラン昭和に会場を移し、懇親会が開催され、楽しいひと時を過ごしました。

歯学部関係の表彰者は以下の通りです。(敬称略)今後も益々お元気でご活躍されますようお願い申し上げます。

35年: 天谷恵子(歯科病院中央検査室)

25年: 宮崎 隆(歯科理工学), 岡秀一郎(歯科麻酔科), 須田玲子(歯周病学)

15年: 伊佐津克彦(歯学教育研修センター), 松田幸子(歯科放射線学), 尾園瑞美(歯科病院看護部), 岡本純子(歯科病院看護部), 岩崎信雄(歯科病院看護部), 松原こずえ(歯科病院外来), 今泉貴子(歯科補綴学)



平成21年度推薦・編入学試験が実施 されました

入試常任委員 五十嵐 武

平成21年11月8日(日)に平成22年度の歯学部推薦・編入学Ⅰ期試験が旗の台キャンパスで行われました。

推薦の志願者数は54名で昨年よりも8名増加しました。全国的には歯学部志願者が減少傾向にありますが、本学では教育カリキュラム等が受験生に評価されたものと考えられます。編入学Ⅰ期試験は若干名の募集に対して8名の志願者があり、昨年より11名減少しました。試験当日は新型インフルエンザによる欠席者の懸念もありましたが、幸いにも一人の欠席者もなく志願者全員が受験に望み、特にトラブルもなく無事終了いたしました。合格発表は11月10日(火)に旗の台校舎での掲示とホームページで行われ、推薦入試は42名(男子15名、女子27名)が合格し、編入学試験では3名(女子3名)が合格しました。

平成22年度入試では新たに編入学Ⅱ期試験とセンターⅡ期試験を設け、選抜Ⅱ期試験と同じ平成22年2月28日(日)に実施する点が、昨年度の入試と異なっています。職員の皆様には今後ともご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

試験	募集人員	出願期間	試験日	合格発表
センターⅠ期	約8名	H22.1.4 ~1.22	H22.1.30 (土)	H22.2.6 (土)
センターⅡ期	約2名	H22.2.8 ~2.23	H22.2.28 (日)	H22.3.2 (火)
選抜Ⅰ期	50名	H22.1.4 ~1.22	H22.1.30 (土)	H22.2.2 (火)
選抜Ⅱ期	約6名	H22.2.8 ~2.23	H22.2.28 (日)	H22.3.2 (火)
編入Ⅱ期	若干名	H22.2.8 ~2.23	H22.2.28 (日)	H22.3.2 (火)

平成21年度解剖慰霊祭開催される

口腔解剖学教室 江川 薫

平成21年度解剖慰霊祭は10月20日(火)午後2時より上條講堂で行われました。学長、学部長をはじめ教職員、医学部・歯学部の2年生および多数の御遺族が参列しました。本年度の慰霊祭は平成20年9月から平成21年8月までの間に御逝去され、正常解剖のために献体された方および病理解剖に供された物故者を慰霊するために、御遺族をお招きしてしめやかに挙行されました。歯学部の2年生で行われる解剖学実習のために献体され、今年度慰霊される物故者は21柱でした。歯学部の解剖学実習は5月から7月にかけて連日行われました。学生は人体解剖学の

知識の習得と献体に対する感謝の気持ちを込めて、静粛な心で式に参列しました。

開会の辞に引き続いて、物故者の御冥福をお祈りして黙祷が捧げられ、昭和大学代表として医学部第一病理学教室の諸星利男教授が祭文を述べられました。続いて医学部2年生の佐藤雅史君が学生代表として弔辞を述べました。細山田明義学長より参列者に対して御挨拶があり、最後に参加者全員が献花を祭壇に捧げて故人の冥福を祈り、午後3時に解剖慰霊祭は終了しました。



受賞のお知らせ

広報委員長 井上 富雄

・富田かをり(口腔衛生学教室 兼任講師): 10月3日, 11月1日に名古屋国際会議場で開催された日本障害者歯科学会において日本障害者歯科学会優秀論文賞を受賞されました。!

論文名:「流涎と口腔機能の関連」!

・拝野俊之(口腔衛生学教室 大学院4年): 10月31日, 11月1日に名古屋国際会議場で開催された日本障害者歯科学会においてIADH(国際障害者歯科学会)奨励賞を受賞されました。!

演題名:「The Establishment of Raising Method of Weaning Rats Operated Gastrostomy」



白菊会連合会総会開催される

口腔解剖学教室 中島 功

11月1日(日)日比谷公会堂にて9大学12学部参加のもと白菊会連合会の平成21年度総会が開催されました。今回は昭和大学が主幹校となったため、医学部・歯学部合同で準備に当たり、歯学部の学生57名も最寄りの駅から会場までの路上や会場内において会員さんの案内に活躍いたしました。



今回は天候にも恵まれ、11月というのに26度という暖かな陽気のなか802名が出席され、昭和大学歯学部からも同伴を含め25名の会員さんが参加されました。総会は13時30分より今回の当番校である、昭和大学医学部大塚成人教授による開会の辞で始まり、次いでこれまでに御献体いただいた物故会員の方々のご冥福を祈り参加者全員で黙祷をささげました。さらに主幹校である本学、細山田学長の御挨拶に続き文部科学省高等教育局医学教育課長、日本解剖学会理事長、日本篤志献体協会理事長、篤志解剖全国連合会会長、白菊会連合会会長の挨拶、献体活動貢献者への感謝状贈呈、事務局からの会務報告、加盟大学の紹介が行われ、中村雅典教授の閉会の辞で閉会しました。休憩を挟んだ後、アトラクションとして落語家の林家きく姫さんによる落語が行われ会員の方々は大いに楽しみ、15時30分に終了しました。休日にもかかわらず協力してくれた学生諸君に感謝をいたします。

ブローネマルク科学シンポジウムで講演して

歯科理工学教室 宮崎 隆

去る10月29日から31日まで、世界中から200名の招待者を集めて、P-I Brånemark Scientific Symposium 2009が晩秋のイエテボリで開催されました。25年前にブリュッセルで開催された「顎顔面の再建への応用」に関する歴史的なシンポジウムを継承し、今回は、「オセオインテグレーションと関連の治療法：将来展望、QOL、治療の単純化」がテーマで、基礎から臨床、臨床研究、医療経済まで幅広いトピックスで、36名の講師による講演と参加者を交えた討論が行われました。

現在ブラジルに在住のBrånemark博士は、車椅子で登場しましたが、名誉会長として元気に開会の基調講演を行ない、先進国に普及した歯科オセオインテグレーションを世界中の無歯顎患者のQOL向上と、歯科以外の患者のリハビリテーションに活用して人類

の健康に貢献したいと力説され、会場から祝福を受けました。

日本からの講演は私だけでしたが、「CAD/CAMは万能薬かチャレンジか」というタイトルで、インプラント治療に応用される新しい技術の展望を紹介しました。ストックホルム

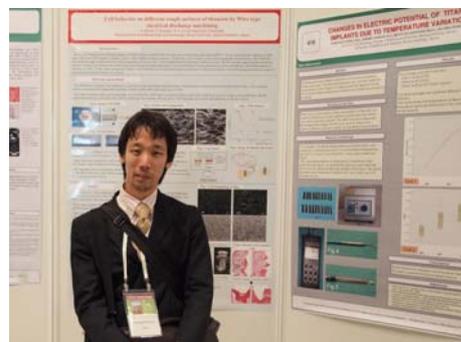


ムのKarolinska Institutetに留学中の小宮山藍さん(本歯学部23回生)が出席していました。学位申請論文(thesis)がほぼ完成したようですが、すでに公表された彼女の臨床論文は世界のインプラント界で評判になっています。これからも卒業生が世界で活躍することを期待しています。

第18回欧州インプラント学会に参加して

大学院3年(機能再建学専攻) 大塚 福長

10月1日からの3日間にわたり、モナコにおいて開催された第18回EAO(European Association for Osseointegration)に参加してきました。インプラント関係の学会としては世界最大の規模であり、ヨーロッパの先生方が多かったです。日本人をはじめアジア各国からも多くの方が参加していました。本教室からは私と阿多先生の2名が



ポスター発表を行いました。自分の研究テーマでもある生体材料に関する発表も多数あり、インプラント表面の改質に関して多くの知見を得ることができました。また、各インプラントメーカー主催のセミナーも会場内ではもちろん、学会場とは別の場所でも行っておりヨーロッパにおけるインプラント市場の活況を感じました。特にAstraTech社のosseospeedに関する講演会は、臨床的な術式・成績に関する話だけではなく、それを裏付ける表面処理方法・インプラントデザインの話など興味深い内容でした。

モナコの街並みもすばらしく、よくもこのような地に街をつくったものだという驚きと、ヨーロッパの歴史を感じ、ただただ圧倒されました。

今回学んだこと、経験したことを今後の研究にいかしていきたいと思います。

University of British Columbia, University of Missouri を訪問しました

歯周病学教室 山本 松男

平成22年10月22-29日に、戦略的大学連携支事業の一環として北米における口腔医学教育の海外視察として、カナダ・バンクーバーにあるThe University of British Columbia Dentistry(UBC)および米国ミズーリ州のUniversity of Missouri-Kansas City School of Dentistry(UMKC)を訪問しました。今回は北海道医療大学個別差医療科学センター安彦善裕先生と福岡歯科大学口腔保健学講座晴佐久悟先生、そして私の3人が北米視察グループとなりました。

今後の歯科医療では、老化や疾患を伴う全身状態の中での口腔機能を理解することが必須です。①学生教育用診療・患者管理システム、②歯科と全身疾患の関連についての教育上の工夫と教育支援システム、という観点から臨床教育と口腔医学について記します。



①学生教育用診療・患者管理システム

UBC, UMKCともに、担当患者についてエックス線画像を含む口腔検査結果とそれらに基づく治療方針が学生により立案され、指導者のチェックのもとコンピューターファイル内に記録されます。学生は臨床実習を進めつつ、診療記録を追記し、診断から診療までを一つのファイルとして記録していきます。いつでも治療方針の点検や治療結果(技能)評価などが統合された形で指導が行われていきます。

②歯科と全身疾患の関連についての教育上の工夫と教育支援システム

UBCでは70-80%の基礎医学教科は、医学生と歯学生在が共用しています。医・歯学部で共有のPBLシナリオについて、例えば感染論では、*E. coli*, 結核, Herpes, HIV, マラリア寄生虫の5テーマです。検索・知識解説・論文ダウンロード・レポート作成などを統合したWebサイトの構築を行い、学生の自主的学習を積極的に支援しています。

一方、UMKCでは歯学部単独教育が主で、例えば、歯周病と全身疾患に関するCase-based learningで高血圧、糖尿病、腎移植患者、AIDS患者などの口腔病変と治療について実践的に教えます。同時に別科目でBlackboard(E-learning)システムを利用し、全身疾患40症例を週に3症例ずつを課し(必修)、患者への質問、危険因子、医学的問題、医科へのコンサルテーションなど実例を含めて徹底的に教え込みます。

PBLはほとんど採用していませんが、この10年間でADAナショナルボードの合格率は常に1位もしくは2位を維持しており、地域性や、施設および財政の制約のなかでベストを尽くすという強い方針を感じました。

我が国の学生臨床実習では、患者配当を実践することは容易ではありませんが、一方で、有病者や高齢者等における口腔機能のリハビリや口腔ケアなどの教育は北米ではほとんどみられません。今回の視察で学んだ口腔医学教育のエッセンスを我々の教育に取り込み消化することで、今後の社会の要請に応える歯科医教育に発展させることが可能であるという感触を得ることができました。

学長杯優勝に続き理事長杯準優勝！

高齢者歯科 佐藤 裕二

創立記念日の代休(11月2日)に開催された第7回理事長杯ゴルフ大会(成田・グリッサンドゴルフクラブ、参加者91名)で、

口腔生理学の井上先生が準優勝に輝きました。ゴルフ日和の気持ちの良い気候でした。歯学部からは歯科理工学の堀田先生と私の3名で、少し寂しかったですが、井上



先生が頑張っていたが、歯学部の存在感を示してくださいました。また、歯科病院教務課に7月から来られた山村さんはドラゴンと6位でした。私は残念ながら、日頃の運動不足がたたりに、足を痛めてしまいました。(1週間後に、肉離れになってしまいました...) 次回は歯学部からの参加者も増え、団体優勝を期待しています。

診療統計(平成21年10月分)

医事課長 久米 徳明

	患者数	1日平均	前月1日平均	前年1日平均
外来患者	18,077	695.3	726.4	715.2
入院患者	441	14.2	14.8	12.2

行事予定

広報委員長 井上 富雄

12月5日(土) : 昭和歯学会, 大学院入試!
1月16日(土), 17日(日): センター試験!
1月30日(土) : 選抜I期入試!

編集後記

口腔微生物学教室 片岡 嗣雄

新型インフルエンザが相変わらず猛威をふるっております。これから最も危険な季節になりますので、どちら様もお体に気をつけて!